

事業名 サイエンスカフェ「阿蘇の水基めぐりカフェ」

[共 催] 国立阿蘇青少年交流の家 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

[期 日] 令和6年11月23日(土)

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家・阿蘇神社周辺

[参加者] 18名

[講 師] 渡部 慎也(熊本大学)

1 趣 旨

体験活動や実験を通して、阿蘇の火山や地下水について学び、理解を深める機会を創出する。

2 目 標

- (1) 参加者の8割以上が事業の満足度に対して肯定的に回答する。
- (2) 参加者の8割以上が「また参加したい」と回答する。

3 事業展開

時刻	内容等
13:20	参加者集合・受付
13:30	プログラム説明 (交流の家職員)
13:40	バス移動
14:05	阿蘇神社周辺
15:05	水基めぐり 16 マス
15:10	バス移動
15:35	湧水きき水・実験等
16:40	(熊本大学 渡部氏)
16:45	解散



【活動の様子】
 【左上】渡部氏によるガイダンス
 【上】きき水実験
 【左】各地の湧水等

4 評価、成果と課題

(1) 評価

① 満足度(参加者18名)

質 問	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体の満足度はどのくらいですか。	回答数(人)	17	1	0	0
	割合(%)	95	5	0	0
また参加したいですか。	回答数(人)	16	2	0	0
	割合(%)	90	10	0	0

② 感想

- ・フィールドワークと室内実験の両面から体験できてよかった。
- ・阿蘇神社には何回も来たことがあるが、「水基めぐり」は初めての体験だった。
- ・自分は湧水が一番おいしいと思っていたが、他の水との味の違いは全然判断できなかった。
- ・体験と実験は大人も子どももわくわくしながら参加できると思う。

(2) 成果

体験活動と実験を組み合わせたプログラムは参加者に好評であり、次回参加の希望も多かった。

(3) 課題

連携、共催を行う上で、連絡が不十分な個所があった。事前試行をするなどして、当日の役割分担を明確にするべきであった。